

# 浦方観光たけのこ園グループ

(熊本県山鹿市)

## 活動の概要

- 熊本県一の生産量を誇る「筍」を守る活動を通して、町の基幹産業である農業だけでなく、農地や自然環境を保護。
- 観光たけのこ園を開設し、農家が重労働と思い敬遠していた「たけのこ掘」を「観光」へと発展させ、地域の活性化を推進。
- 地域の料理店で組織された「たけんこ街道協議会」と連携して、たけのこ料理でリピーターを獲得。
- 放置竹林を整備する農家が増えて筍の生産量が増加しただけでなく、地域をあげて取り組んだ有害鳥獣被害防止対策にも成功し、地域の農林業振興に貢献。

## 背景・経緯

- 2012年度 竹林の荒廃防止のため、周辺農家で「浦方たけのこ園グループ」を設立。
- 2013年1月 離農により放置された竹林の整備を開始。
- 2015年3月 30アールの「浦方観光たけのこ園」を開設。  
3月から4月の筍の時期の限定期間になるが、マスコミにも取上げられ、例年来園者が増加。
- 2015年 地域の放置竹林を借り上げて整備を開始。
- 2020年 整備された竹林は150アールになり、筍の生産量も増加。また、放置竹林が減ったことで、イノシシの害が減少。さらに、集落全体で防護柵や電気柵の正しい設置方法を学び地域をあげての取組は、有害鳥獣対策の先進地として視察者が増加。



荒れた竹林の整備作業



たけのこ掘り体験



たけのこ料理